

## 【第2回】 下井草駅周辺まちづくりワークショップ 次第

日時:令和5年5月17日(水)

18時30分～20時30分

会場:区立八成区民集会所

第2・3・4会議室

- 1 開 会
- 2 開会の挨拶  
(杉並区 都市整備部鉄道立体担当課長)
- 3 区職員、受託者・ファシリテーター等紹介
- 4 今年度のワークショップの進め方
- 5 学識経験者による講義  
(日本大学 理工学部土木工学科 関文夫教授)
- 6 グループディスカッションの進め方
- 7 グループディスカッション (まちの将来イメージ)・まとめ
- 8 グループディスカッション (駅周辺の将来イメージ)・まとめ
- 9 全体取りまとめ
- 10 アンケート記入
- 11 閉会の挨拶
- 12 閉 会

本日のテーマ

# 「まち全体の将来イメージ と駅周辺を考える」

日時：令和5年5月17日（水）

18時30分～20時30分

会場：区立八成区民集会所 第2・3・4集会室



## 開会あいさつ

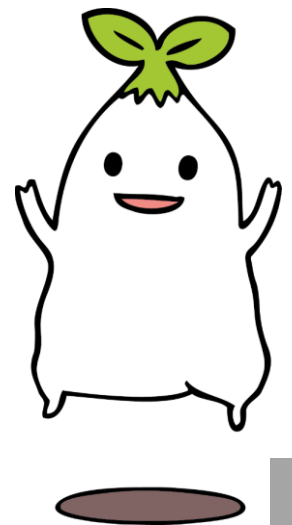
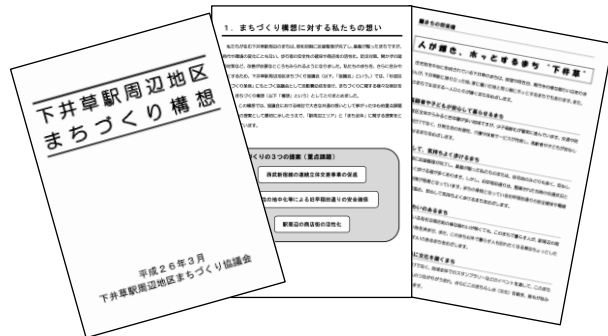
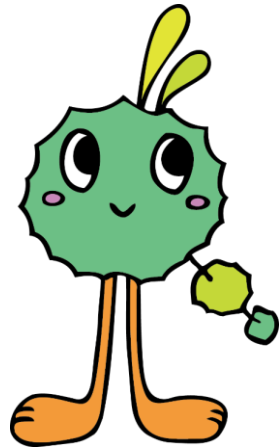
- 1) まちづくりワークショップの目的
- 2) 今年度のワークショップの進め方
- 3) 学識経験者による講義（日本大学 関教授）
- 4) グループディスカッションの進め方
- 5) グループディスカッション
- 6) 全体とりまとめ
- 7) アンケート記入

## 閉会あいさつ

# 1) まちづくりワークショップの目的

## 【目的】

- 住民がまちづくりの担い手として、自分たちの住む“まち”の課題の抽出とその解決に向けた意見交換を行い、まちづくりのアイデアやヒントを探る。
- 自分たちが住む“まち”をさらに魅力的にするために、課題解決に向けたまちづくりのアイデアやヒントを踏まえ、まちの将来像等の具体的な検討を行う。





# 第1回ワークショップ 振り返り

## ～分野別～

### 【交通体系】

- 道もそこそこ広く、歩きやすく、子育てもしやすい
- 斜めに縦断している旧早稲田通りが非常に危険、かつ、住んでいない方々による通過交通が多く、地元住民はほとんど歩かない
- まちを活用するまちづくりとして路線の名称付け（例：井草畳通りなど）  
「歩行者天国」にする時間帯や一方通行等、アイデアを踏まえ今後検討

### 【商業／にぎわい】

- 下井草駅周辺に「賑わいは本当に必要なのか?」、どのようなことを「賑わい」と言うのか、下井草駅周辺の賑わいを検討
- もう少しいろいろな人たちが来てほしいという希望を叶えるための工夫
  - ▶こだわりの店の出店（若者向け）／休憩場所や集える場所（広場等）の創出歩きやすいまちの
- 『部屋から出て街で過ごす時間をいかに楽しくするか』という視点を基にした商店街の活性化の検討
- お祭りなど、四季の変化を感じながら『みんなで一緒に何かをする』というようににぎわいが地域コミュニティの創造

### 【住環境／みどり】

- 住宅地の中は、静かで整然とした街並み
- 非常に過ごしやすいと考えている人が多いが、散歩したくなるほど魅力的かというところでもない、という感触を感じている人もいる
- 地域の豊かなみどりを私たちのみどりとして守り育てていきたい

### 【その他】

- ・歩いて楽しい、人々がふれあうことのできる、コミュニティを育む地域になると良い
- ・外へ出る機会があまりないということは、人とふれあうチャンスも限られるということにつながる

## ～今後の検討～

“ちっちゃくそこそこ  
住みたい街”は、  
どんな街？

散歩したくなる  
ような街とは？

豊かなみどりを  
守り育てるためには  
何が必要？

安心・安全な  
道路空間  
とは？

地域コミュニティを  
活性するためには  
何が必要？

## 2) 今年度のワークショップの進め方

	日時・会場	ワークショップの内容
第2回	【日時】 令和5年5月17日(水) 18:30~20:30 【会場】 区立八成区民集会所 第2・3・4集会室	<u>テーマ：まち全体の将来イメージと駅周辺を考える</u> ➤ まちの将来イメージ ・ 目標像や方向性の検討 ・ 道路交通、商業・にぎわい、住環境等 ➤ 駅周辺のイメージ ・ 求める機能等
第3回	【日時】 令和5年6月7日(水) 18:30~20:30 【会場】 井草地域区民センター 第1・2集会室	<u>テーマ：将来の交通のあり方について考える</u> ➤ まちや駅周辺の将来イメージ ・ 第1回及び第2回ワークショップやオープンハウスを踏まえたイメージについて意見交換 ・ ゾーニング(案)の検討
第4回	【日時】 令和5年7月19日(水) 18:30~20:30 【会場】 区立八成区民集会所 第2・3・4集会室	<u>テーマ：将来の交通のあり方(案)のとりまとめ</u> ➤ まちや駅周辺の将来イメージ ・ イメージ案について意見交換 ・ 今後のまちづくり など
第5回	【日時】 令和5年9月11日(月) 18:30~20:30 【会場】 区立八成区民集会所 第2・3・4集会室	<u>テーマ：下井草駅周辺道路・交通整備計画(案)</u> ➤ 道路・交通整備計画(案)の提示 ・ ワークショップ形式ではなく説明会形式 ・ 今後のスケジュール感等

# 今後のまちづくりの流れ

## 道路・交通施設の整備に関する計画

オープンハウスで多くのご意見をいただいた駅周辺の道路交通課題についてまちづくり方針で掲げた「交通体系分野」の方針に基づき計画の検討・策定を目指すものです。

土地・建物利用及び住環境分野についてもまちづくりの骨格となる基盤整備の取組状況を踏まえ、地域の皆様のご意見を伺いながら順次検討を進めていきます。

2022年  
8月

2023年  
(令和5年度)以降

### 道路・交通に関する計画の検討 (交通体系分野)

オープンハウス開催

地域への周知等  
(まちづくり協議会との意見交換)

ワークショップ等開催

下井草駅周辺の道路・交通施設の  
整備に関する計画(案)

オープンハウス等開催  
(意見募集)

下井草駅周辺の道路・交通施設の  
整備に関する計画の策定

### まちづくり計画の検討

- 駅周辺のにぎわい拠点形成
- 適正な土地利用の誘導
- みどりの保全・育成
- 防災・防犯まちづくり  
など

まちづくり計画



地区の特性にふさわしい環境の  
街区形成を目的とする計画です。



# 「井草の歴史とまちづくり」

下井草駅周辺地区まちづくり

# 井草ミニ歴史

- 1万年前 **原始時代** 人が住む  
「**井草式土器**」 上井草4丁目発掘  
「**顔面把手付土器**」 井草八幡宮所有  
井荻3丁目（現在の善福寺1、2丁目及び西荻北4丁目）か  
2300年前 **縄文時代** どんぐり、栗、いも、くるみ等  
2200年前 **弥生時代** 稲作文化が伝わる **大宮公園下流に弥生遺跡**  
300年-  
800年 **古墳時代** あまり人が住んでいた形跡がない



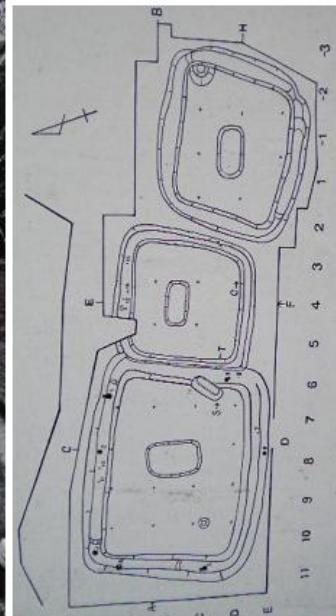
井草八幡宮文華殿所蔵

国指定重要文化財「顔面把手付土器」  
引用 <http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



方形周溝墓3基

引用 <http://tokyosuginami.blog.shinobi.jp>





## 井草ミニ歴史

1100年頃

豊島氏 石神井川流域の豪族 井草村も領地

1187年 平安時代

源頼朝公 奥州藤原氏を征伐の途中、井草八幡に宿陣

1193年 鎌倉時代

阿弥陀如来像

1457年 鎌倉時代

太田道灌 江戸城建城

1477年

太田道灌が石神井城を攻め豊島氏を滅亡させる  
井草には、**道灌山**、井草川へ架けた**道灌橋**、  
戦死者を葬った「**おこり塚**」がある

1486年

太田道灌入浴中殺される「当方滅亡」と叫ぶ

1524年

江戸城小田原北条氏が入る



杉並区桃井1丁目「**お古里塚**」

室町時代後期の文明9年(1477年)4月に豊島泰経と太田道灌との間で行われた江古田・沼袋原の合戦の戦死者を集めて葬ったところで、鎧や兜、刀、槍などが埋められている

東京都杉並区井草2丁目「**念佛塚**」

文明9年(1477年)4月に豊島泰経と太田道灌との間で行われた「江古田・沼袋原の合戦」の戦死者を葬った

今川三丁目交差点付近は昔から陣幕と呼ばれていた

# 井草ミニ歴史

1610年頃 江戸時代

武州多摩郡井草村

仕官の口を求めて江戸へ来た武士が百姓へ帰農  
老中井上正就（まさなり）

1645年頃

上井草村、下井草村に分離

## 上井草村

谷頭（やがしら）、瀬戸原、三家、八町、宿、新宿、寺分（てちぶ）、渡戸（わたど）八つの小名

## 下井草村

柿ノ木、沓掛（くつかけ）、神戸（こうど）、八成、井草前の五つの小名

「清水系統図」

「善福寺池と妙正寺池との間にある草野を池の井と草野の葦を取って、井草郷と称す」

善福寺池、妙正寺池に藺草（いぐさ）が生えていた説  
池の草と呼ばれていた葦から葦草（いぐさ）説





江戸實測図 (南) 1817年





堀之内村

高圓寺村

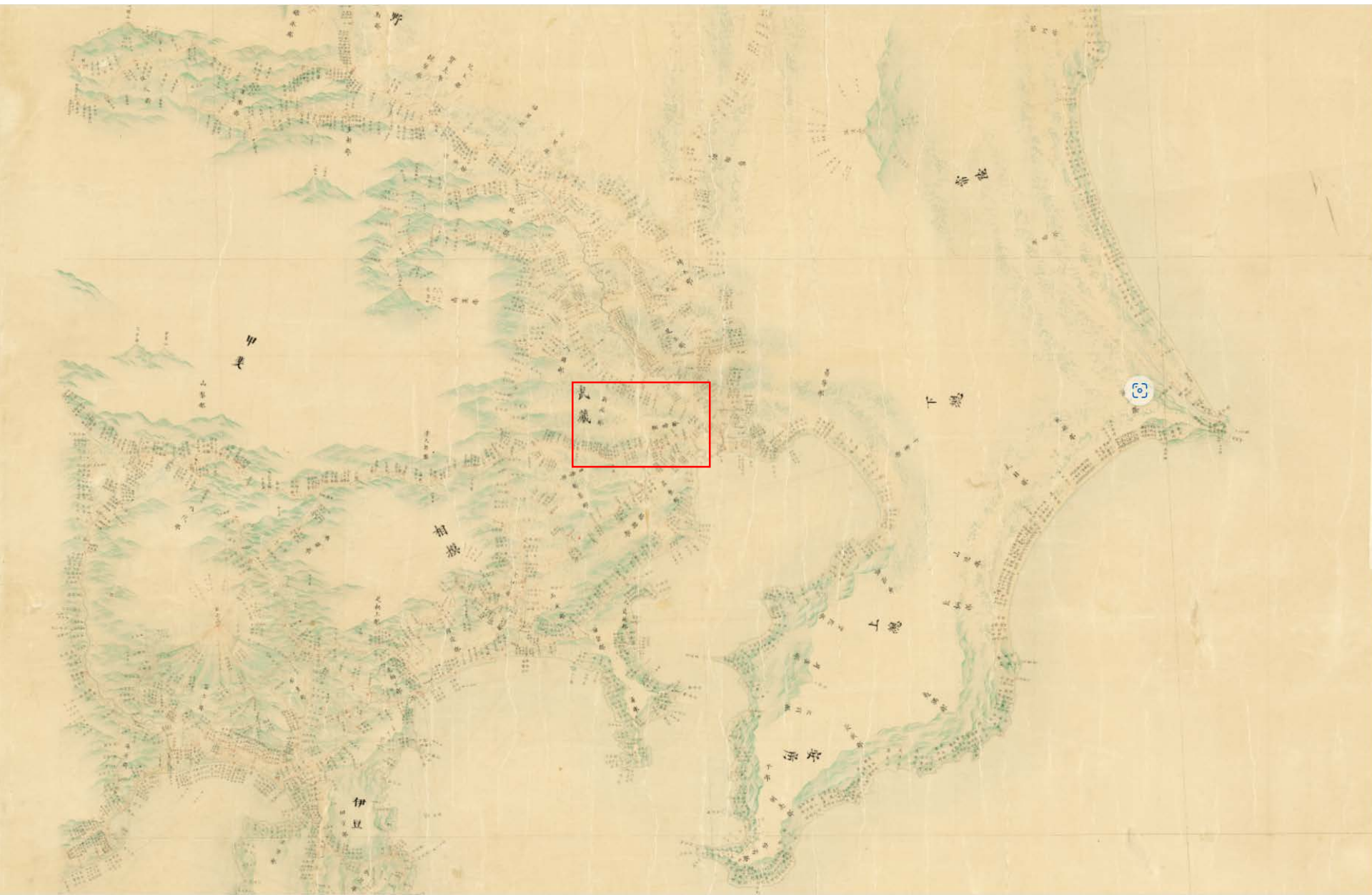


中野村

和田村



江戸實測図 (南) 1817年



伊能中図 関東 1821年





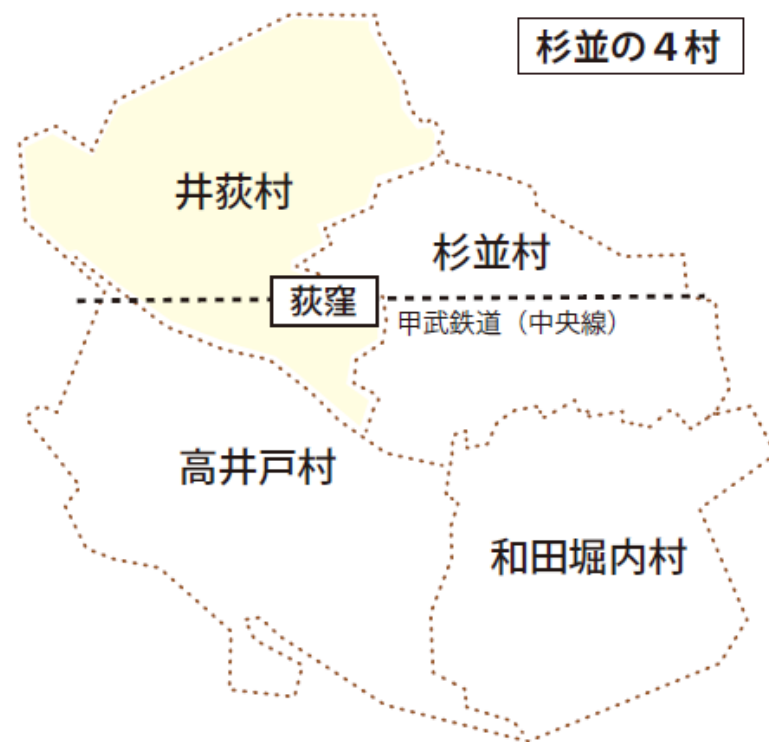
伊能中図 関東 1821年

# 井草ミニ歴史

- 1880年 **明治時代** 東京府武蔵國東多摩郡上下井草村近傍村落
- 1889年 (明治22年)** **上, 下井草村, 上, 下荻窪村が合併して井荻村**
- 1912年 **大正時代** 関東大震災 (1923年)
- 1915年 武蔵野鉄道 (西武池袋線) 池袋～飯能開通
- 1925年 内田秀五郎区画整理事業開始



杉並の旧20カ村

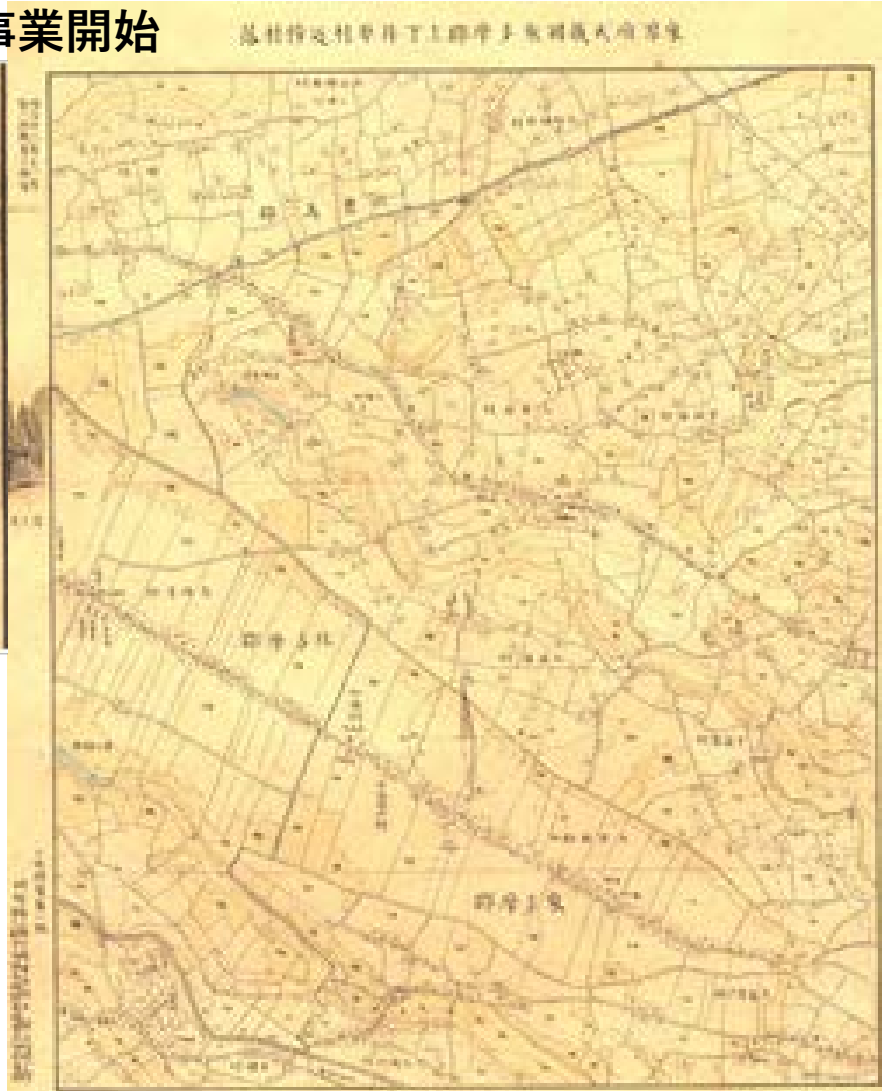


1889(明治22)年に「市制・町村制」が施行され杉並地区は4つの村に再編された



# 井草ミ二歴史

- 1880年 **明治時代** 東京府武蔵國東多摩郡上下井草村近傍村落
- 1889年 (明治22年) 上, 下井草村, 上, 下荻窪村が合併して**井荻村**
- 1912年 **大正時代** **関東大震災 (1923年)**
- 1915年 **武蔵野鉄道 (西武池袋線) 池袋～飯能開通**
- 1925年 **内田秀五郎区画整理事業開始**



東京府武蔵國東多摩郡上下井草村近傍村落  
1880年

# 井草ミニ歴史



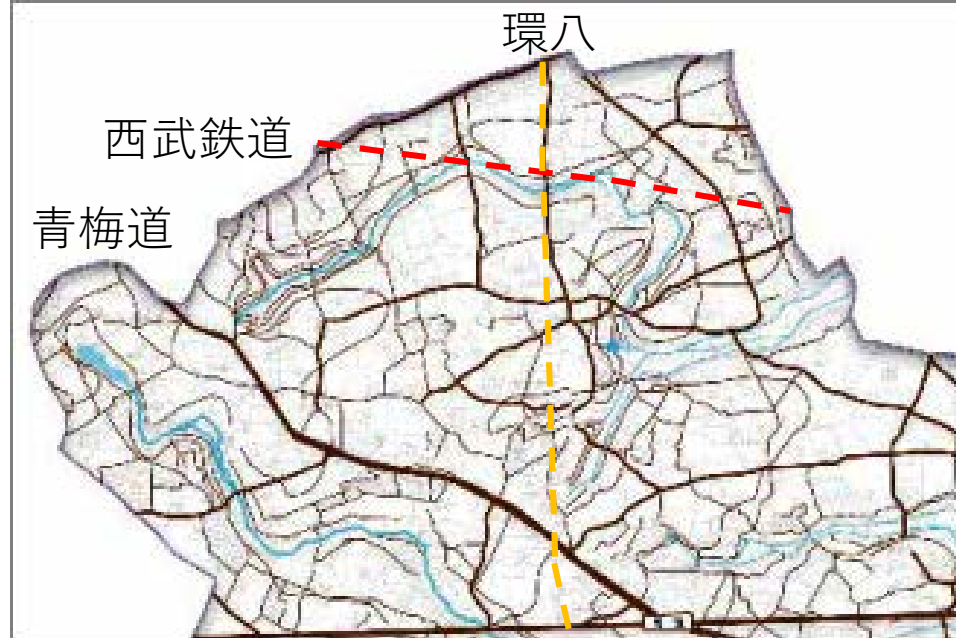
内田 秀五郎 |  
うちだ・ひでごろう  
1876年 - 1975年

30歳という日本一の若さで井荻村長に就任。道路や街路灯、水道の敷設、駅の誘致など都市基盤の整備の他、農業、教育、経済、産業、など幅広い分野の発展に貢献。

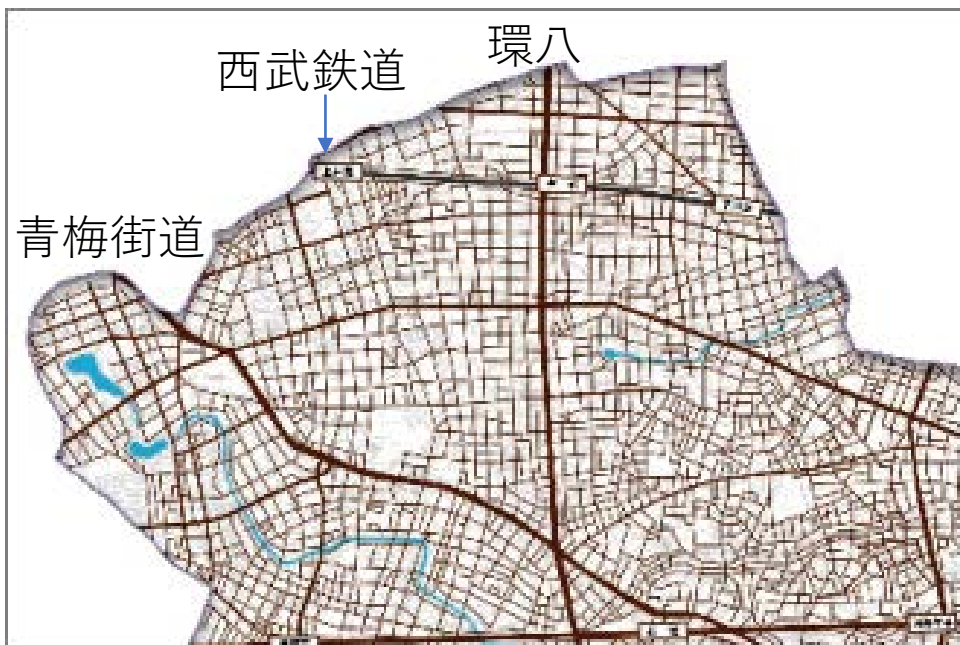
1925年から1935年で行った整理総面積は約880ヘクタール余りに及び、単一町村独自で行った事業としては、全国屈指の大規模なもの。

**ひねたくわん**を事業化する。

引用 <https://www.city.suginami.tokyo.jp/>



区画整理直前(明治期)



整理後(現在)

# 井草ミ二歴史

1915年 大正時代 武蔵野鉄道（西武池袋線）池袋～飯能開通

1923年 関東大震災

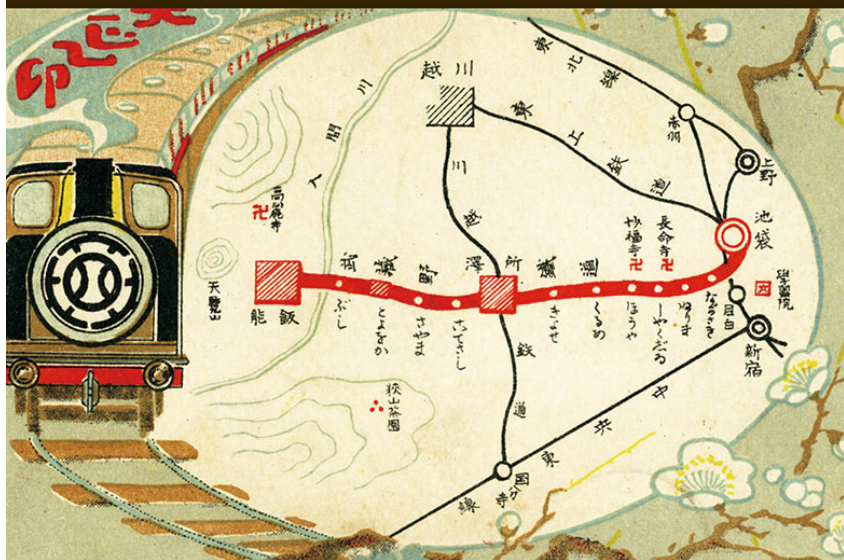
1927年 昭和時代 西武新宿線 東村山～高田馬場間が開業（昭和2年）  
上井草駅, 井荻駅, 下井草駅開業4月16日

1932年 大東京区域図

1935年 内田秀五郎区画整理事業完了

02

武蔵野鉄道開業、  
池袋～飯能間が開通した。



開業時の武蔵野鉄道路線図

所蔵：白土貞夫 株式会社ネコ・パブリッシング「写真で見る西武鉄道100年」より

04

(旧)西武鉄道が現在の新宿線を開業。



高田馬場で折り返すモハ559 1937(昭和12)年

撮影：橋本哲次 株式会社ネコ・パブリッシング「写真で見る西武鉄道100年」より



## 井草ミニ歴史

1927年（昭和2年）開業4月16日 -。

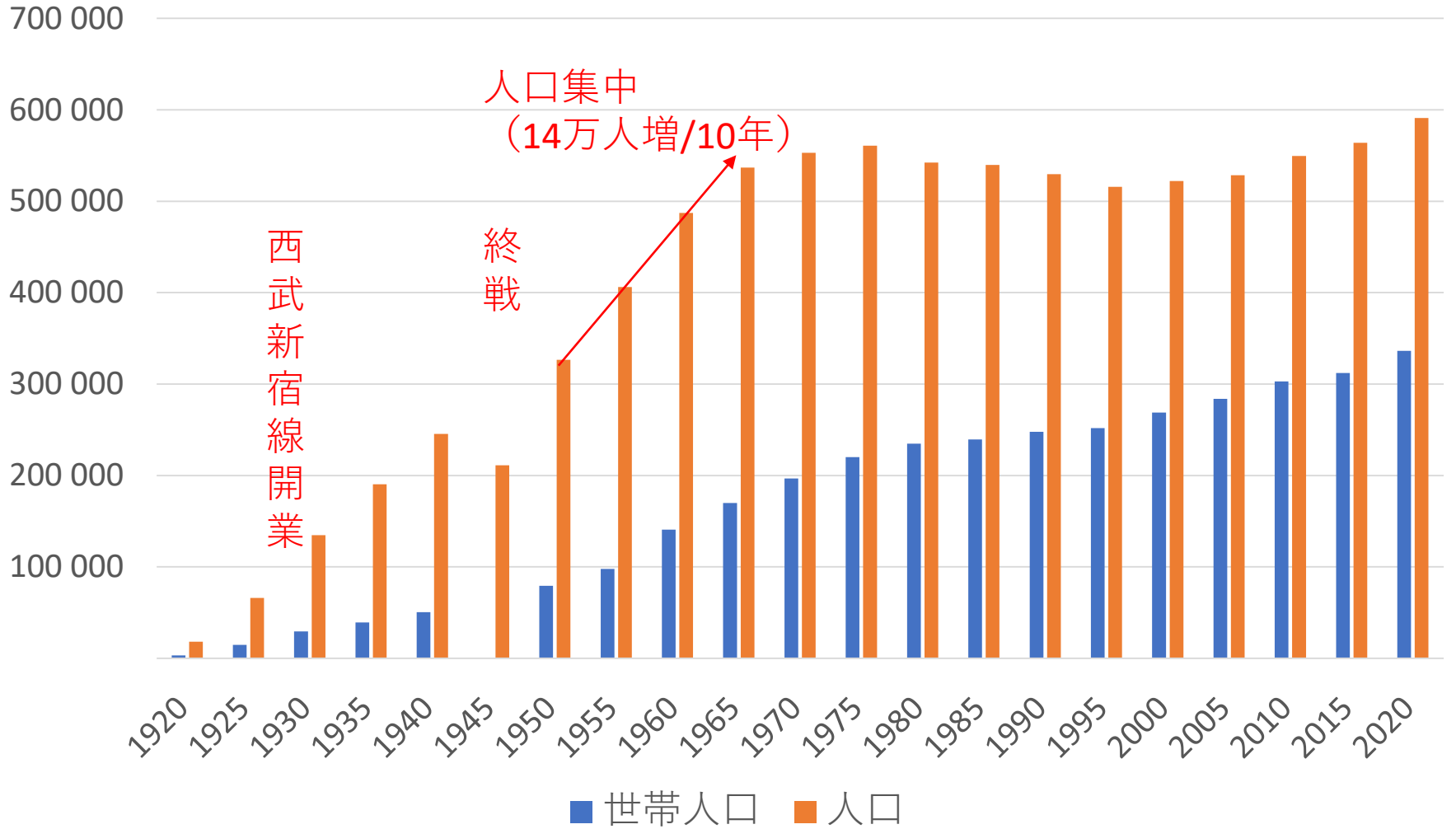
1953年

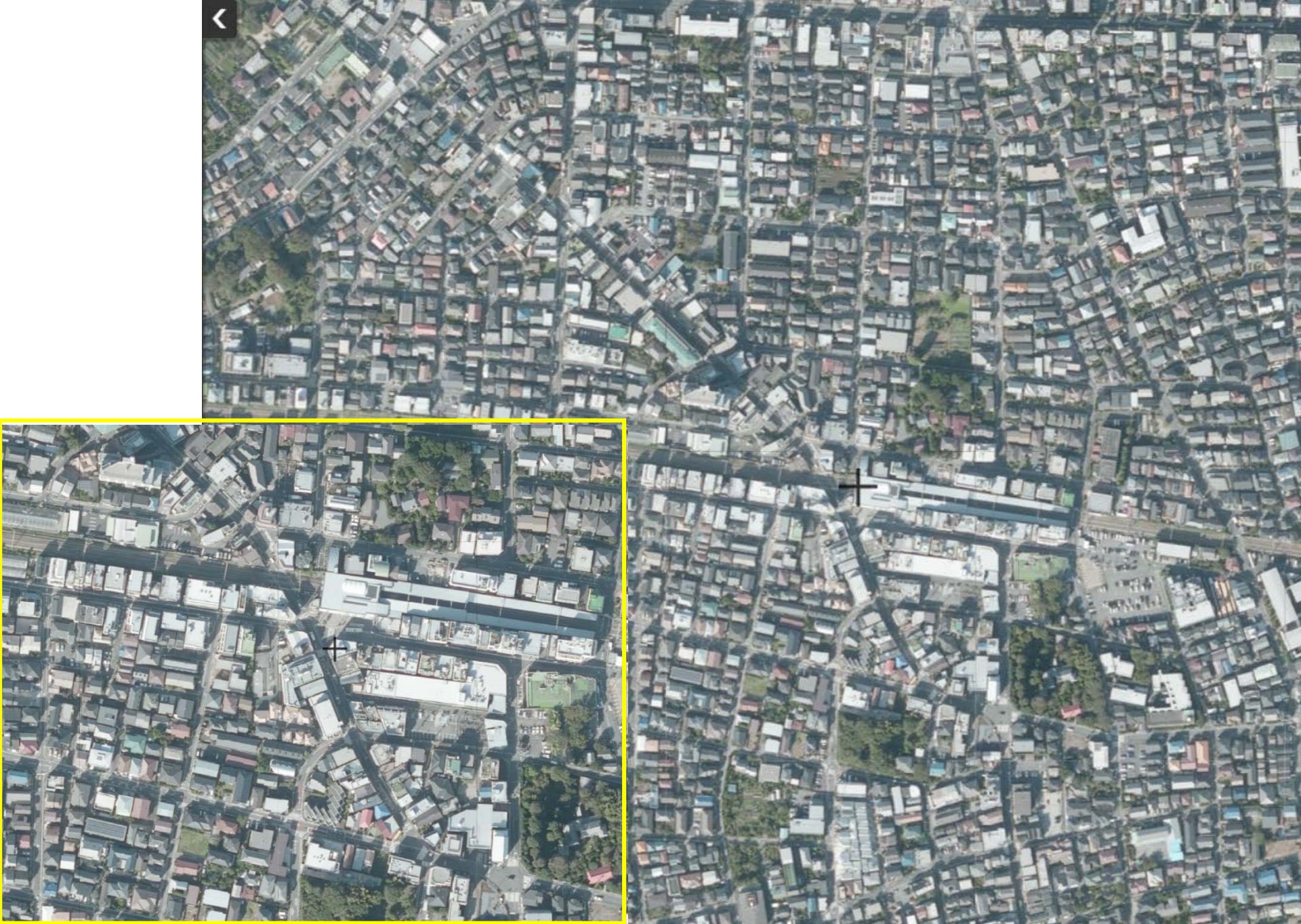
西武新宿線下井草駅。初期の駅舎は西向きだった。  
電車は2両編成程度で、ホームもそれに合わせて短かった。  
1960年代後期 - 構造を島式ホーム1面2線から相対式ホーム2面2線に変更。





# 杉並区人口推移











国土地理院地図 電子国土web 1945年～1950年





国土地理院地図 電子国土web 1961年～1969年

## 井草ミニ歴史

1927年（昭和2年）4月16日 - 開業。

1960年代後期 -

構造を島式ホーム1面2線から  
相対式ホーム2面2線に変更。

1970年（昭和45年）10月4日 - 跨線橋の使用開始。

1982年（昭和57年）8月3日 - 当時の新駅舎完成・使用開始。

2005年（平成17年）12月 - 1982年からの南口旧駅舎解体開始。

2007年（平成19年）2月3日 - 新駅舎完成・同時に太陽光発電設備の使用を開始。







井草サマリヤ  
マンション  
1973年6月



1970年こ線橋完成



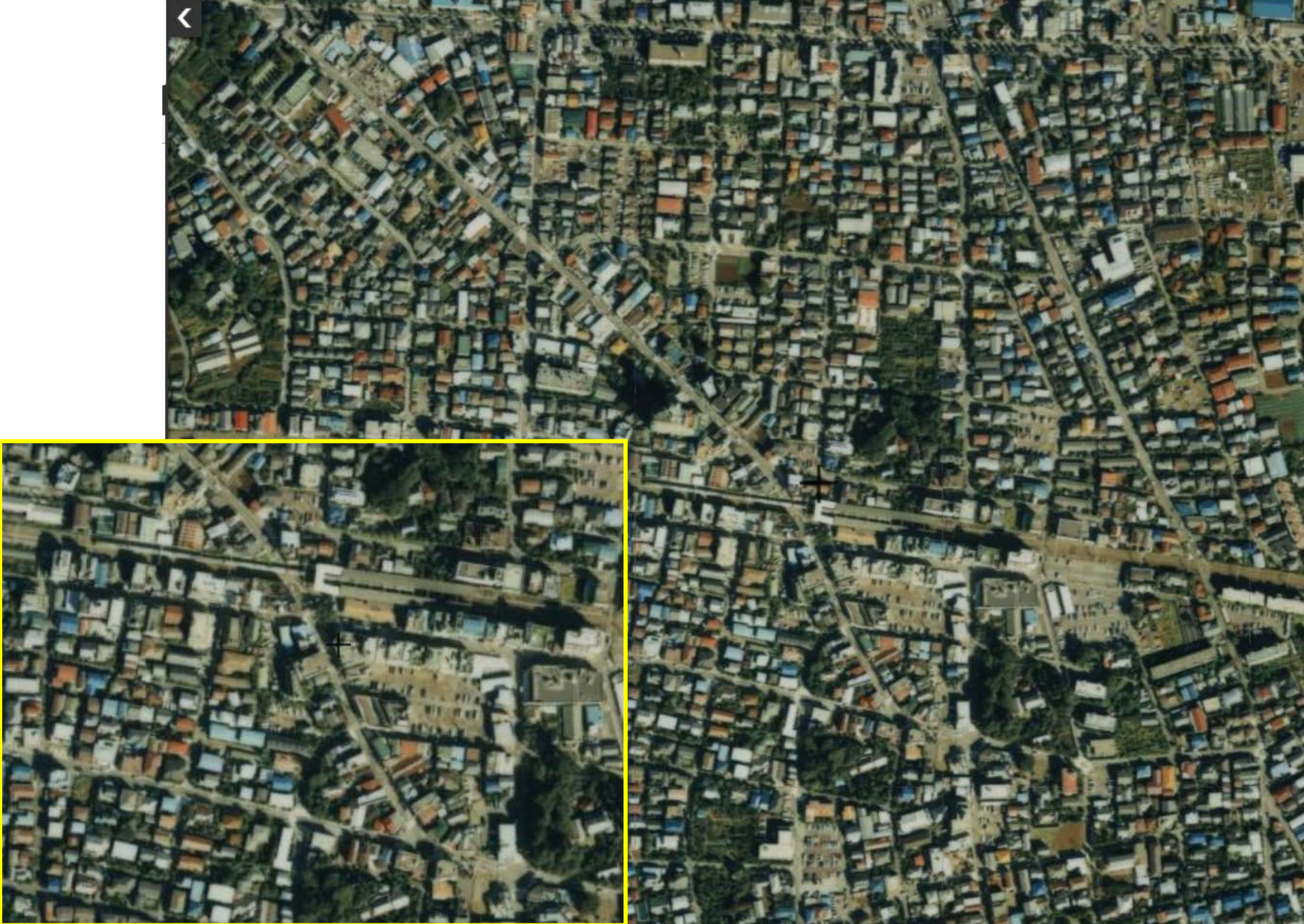






国土地理院地図 電子国土web 1984年～1986年







# 井草ミニ歴史

1927年（昭和2年）4月16日 - 開業。

1960年代後期 -

構造を島式ホーム1面2線から  
相対式ホーム2面2線に変更。

1970年（昭和45年）10月4日 - 跨線橋の使用開始。

1982年（昭和57年）8月3日 - 当時の新駅舎完成・使用開始。

1994年

ティップネス下井草開業

2005年（平成17年）12月 - 1982年からの南口旧駅舎解体開始。

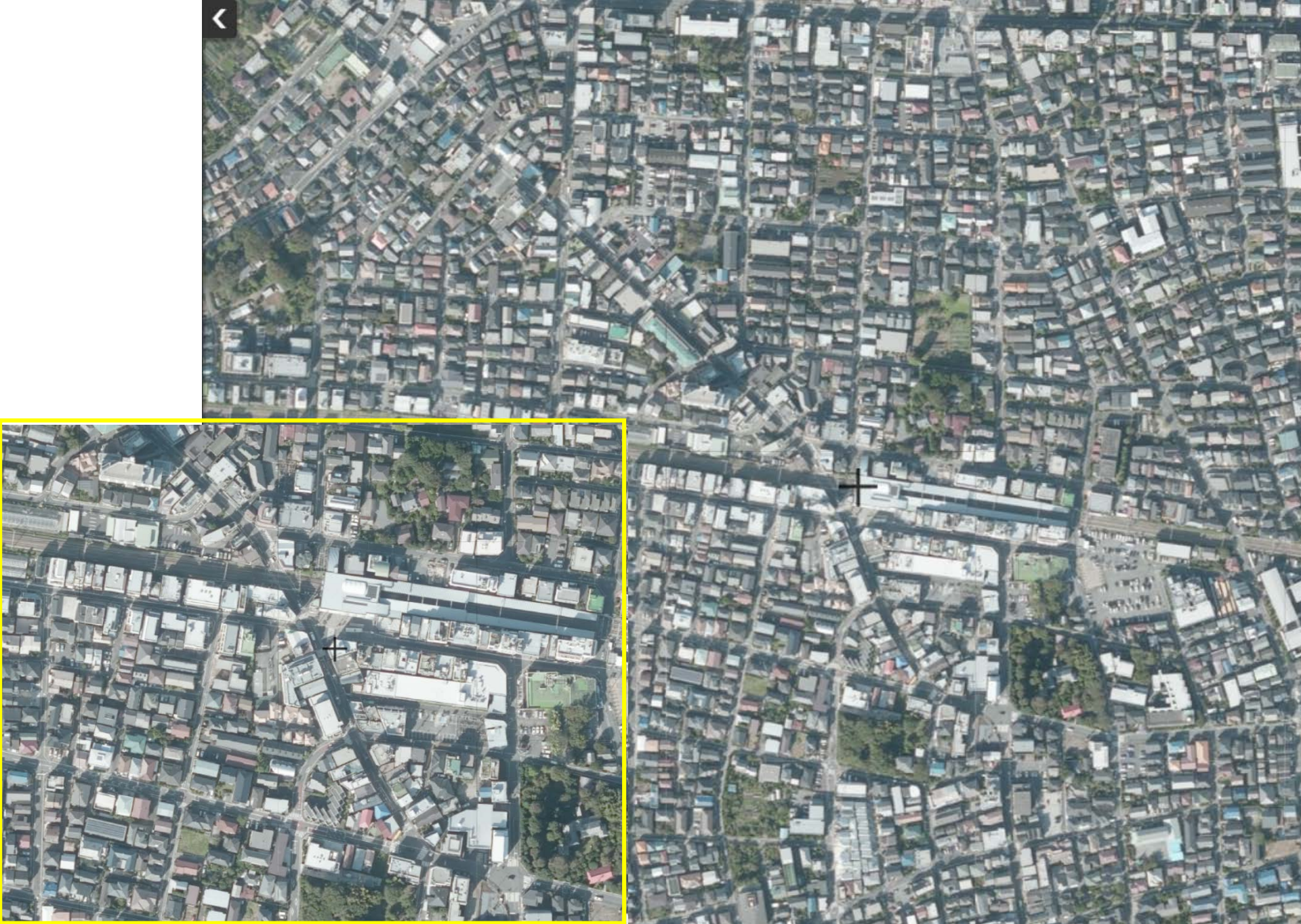
2007年（平成19年）2月3日 - 新駅舎完成・同時に太陽光発電設備の使用を開始。



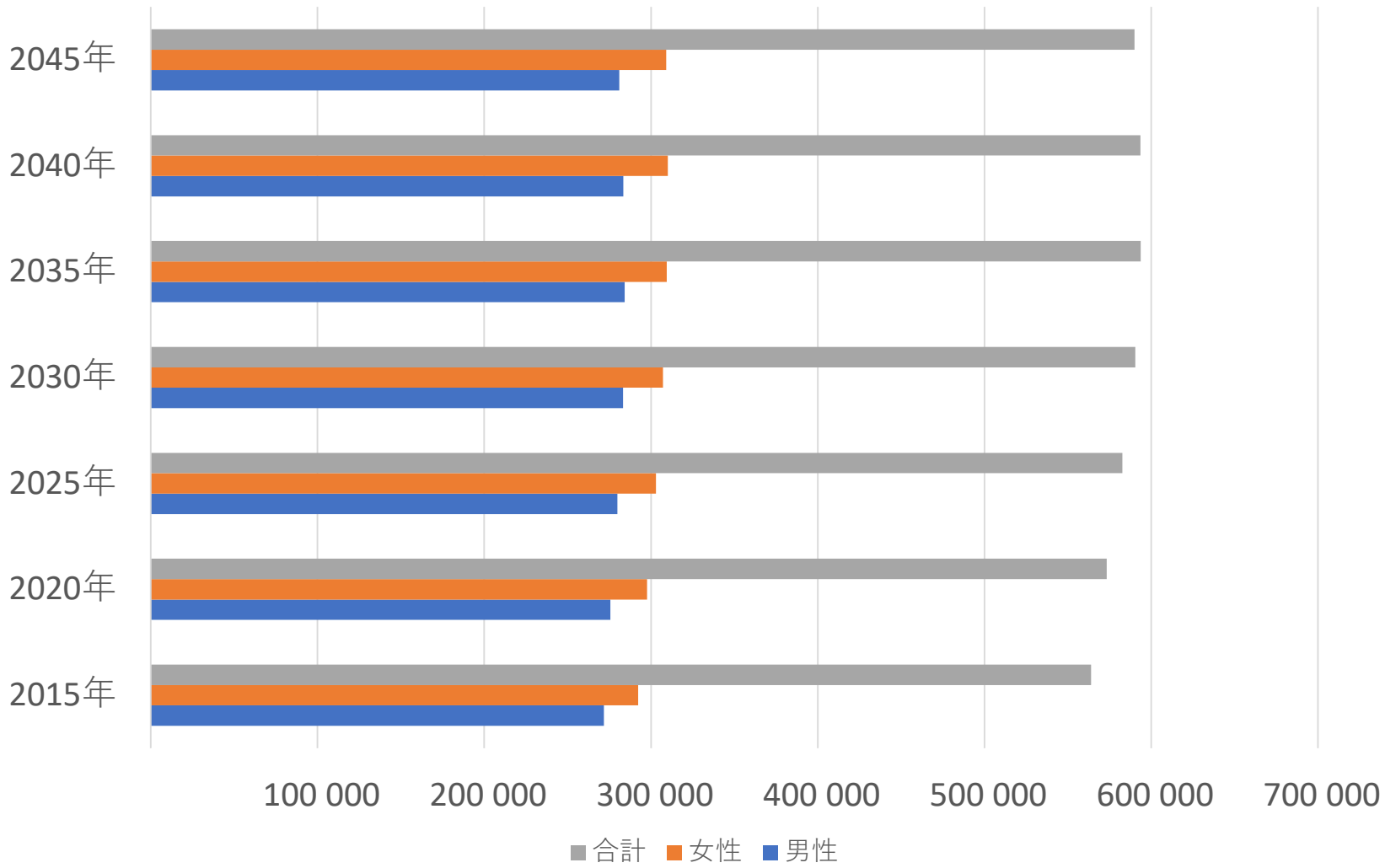








# 杉並区人口未来予測



# 井草ミニ歴史

1万年前	<b>原始時代</b>	小川の流れる緩やかな地形から、1万年前からの住宅があり、土器の発掘「 <b>井草式土器</b> 」，「 <b>顔面把手付土器</b> 」
	<b>縄文時代</b>	木の実を主食としていた時代から狩猟民族の時代を経て、
	<b>弥生時代</b>	<b>大宮公園下流に弥生遺跡</b>
1100年頃	<b>平安時代</b>	<b>豊島氏 石神井川流域の豪族</b> 井草村も領地
1187年		源頼朝公 奥州藤原氏を征伐の途中、 <b>井草八幡に宿陣</b>
1193年	<b>鎌倉時代</b>	阿弥陀如来像
1457年	<b>鎌倉時代</b>	太田道灌 江戸城建城
1477年		<b>太田道灌が石神井城を攻め豊島氏を滅亡させる</b> <b>お古里塚，念佛塚</b>
1610年頃	<b>江戸時代</b>	武州多摩郡 <b>井草村</b> 仕官の口を求めて江戸へ来た武士が百姓へ
<b>1889年</b>	<b>明治時代</b>	<b>上，下井草村，上，下荻窪村が合併して井荻村</b>
1915年	<b>大正時代</b>	武蔵野鉄道（西武池袋線）池袋～飯能開通
1925年		<b>内田秀五郎</b> 区画整理事業開始
1927年	<b>昭和時代</b>	<b>西武新宿線開業</b> （4月16日）
1935年		区画整理事業修了
1960年		急激な人口増加
1970年		跨線橋 相対式ホーム2面2線



# 井草ミニ歴史

## まちづくりの歴史

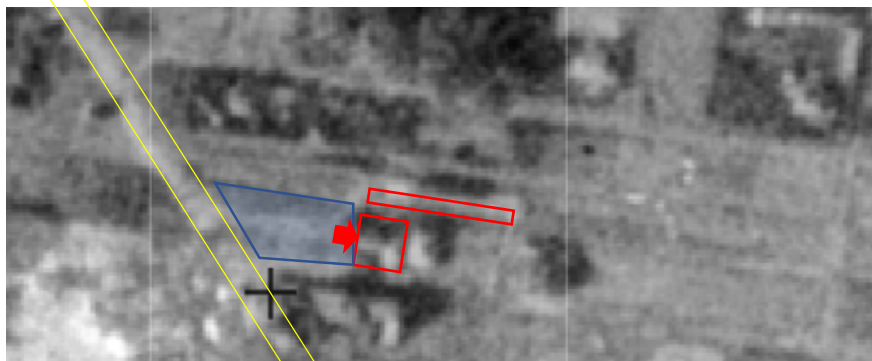
- ①善福寺池、妙正寺池の小川の流れる緩やかな地形から、1万年前から人が生活していた土器の残る土地。**原始時代の「井草式土器」**，**「顔面把手付土器」**がある。
- ②**平安時代**から栄えた石神井城の豊島氏を**鎌倉時代**の太田道灌が攻め入り，戦から多数の**犠牲者を埋葬した塚のある場所**で，石神井の郊外の土地とされていた。
- ③江戸時代に「善福寺池と妙正寺池との間にある草野を**池の井と草野の葦**を取って、**井草郷**と称す」**仕官の口を求めて江戸へ来た武士が百姓へ帰農**し，豊かな土地となった。
- ④**大正時代に内田秀五郎**により、全国で稀な一町村で大規模な区画整理事業が実施された斬新的な土地で，中野村，和田堀内村とは，大きくこと異なる。
- ⑤近年は，西武新宿線と共に，**東京市，杉並区を支えるベッドタウン**として栄え，**荻窪と石神井に挟まれた快適な住宅地**である。



# 井草ミニ歴史

## 駅前広場の歴史

1940年



1950年



1960年



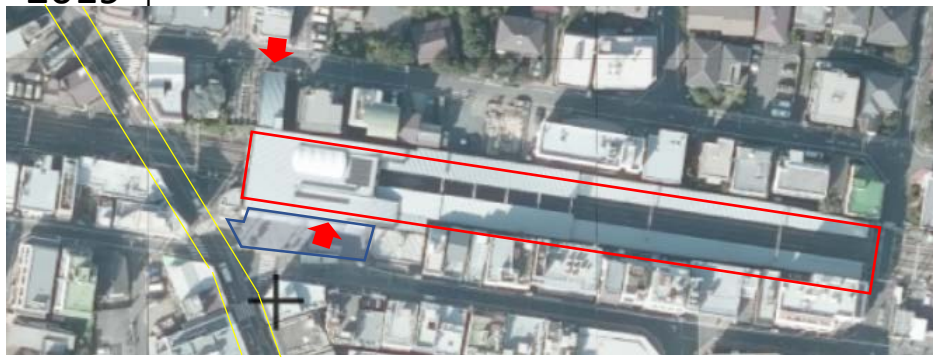
1980年



1990年



2019年



# 井草ミニ歴史

## 駅前広場の可能性

高架事業の場合

整備できる範囲

現在のホーム

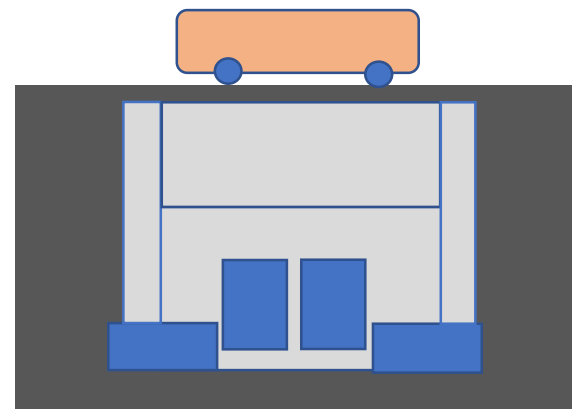
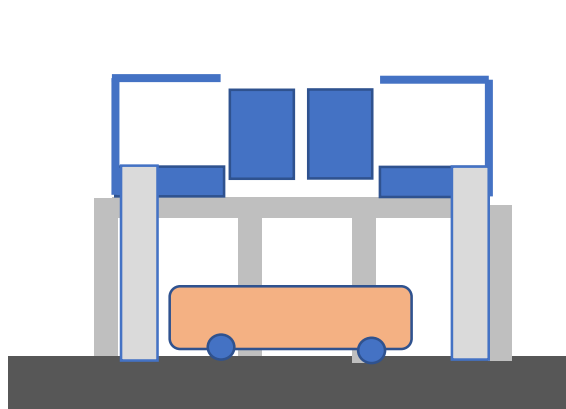
補助215号線  
(都市計画決定)

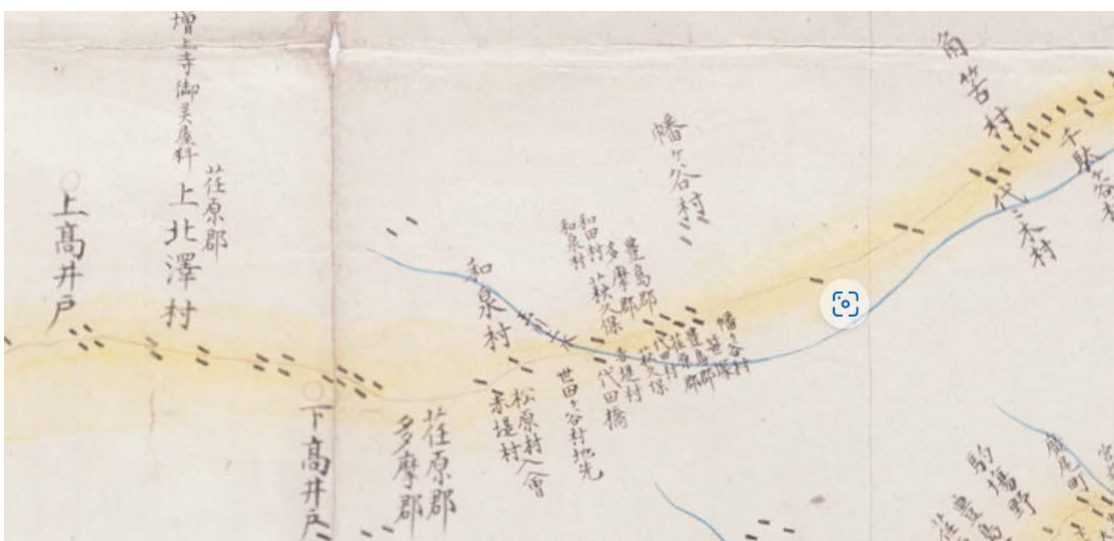






- ① 駅のアクセス 入口
- ② 駅前広場  
広場  
バス乗り場  
タクシー乗り場





伊能大図彩色図 NO.9 0  
 「相模・相模野・下總・武蔵・江戸」  
 1821年



■当日の様子

